

別記第5号様式(第8条関係)

令和元年度政務活動費収支報告書

令和2年4月17日

北広島市議会議長 野村 幸宏 様

会派名 自由クラブ

代表者名 中川 昌憲



北広島市議会政務活動費の交付に関する条例第7条の規定に基づき、下記のとおり令和元年度の政務活動費に係る収入及び支出について報告します。

記

1 収入 政務活動費 871,000 円

2 支出

使途基準項目	金額(円)	内 容
研究研修費	83,164	4市町議員交流会、会派主催研修会 他
調査旅費	508,475	会派視察(磐田市、静岡市、三島市)ほか
資料作成費	54,600	プリンタ用インク、コピー用紙購入
資料購入費		
広報費	12,222	会派主催研修会チラシ
広聴費		
要請及び陳情活動費	99,690	陳情活動(衆議院議員、文部科学省)
合計	758,151	

3 残額 112,849 円

注1 内容欄は、主たる内訳を記載すること。

2 支出の使途基準項目別、支払先別の調書を添付すること。

3 政務活動費を充てた経費に係る領収書(領収書を徴することが困難な場合は、経理責任者の支払証明書)の写しを添付すること。

会派名 自由クラブ

使途基準項目別支払調書(研究研修費)

年 月 日			支出額	内 容
1	10	29	36,000	札幌・石狩地方議員協議会 年会費6名
1	10	29	220	振込手数料 ※経理責任者の支払い証明書
1	11	20	1,944	4市町議員交流会お茶代
1	11	21	3,800	4市町議員交流会お菓子代
1	11	28	2,640	会派主催研修会(2/13) 会場使用料
2	2	7	37,400	会派主催研修会(2/13) 講師経費 【内訳】 交通費 羽田空港 ⇄ 新千歳空港 23,320円 JR新千歳空港駅 ⇄ JR北広島駅 2,180円 宿泊費 8,500円 旅行代理店手数料 3,400円
2	2	7	220	振込手数料 ※経理責任者の支払い証明書
2	2	13	940	会派主催研修会(2/13) 会場備品使用料
合 計			83,164	

使途基準項目別支払調書(調査旅費)

年	月	日	支出額	内容
1	8	21	400,702	行政視察経費 8/26~28(磐田市、静岡市、三島市) 【内訳】 交通費 JR北広島駅 ⇒ JR新千歳空港 590円*3名=1,770円 JR新千歳空港 ⇒ JR北広島駅 590円*5名=2,950円 新千歳空港 ⇄ 中部国際空港 166,140円(6名分) タクシー利用料 131,225円 宿泊費 8/26 54,000円(6名) 旅行代理店取扱手数料 44,617円
1	8	21	216	行政視察 8/26~28(磐田市、静岡市、三島市) 振込手数料
1	8	21	7,605	行政視察 8/26~28(磐田市、静岡市、三島市) 視察先への菓子折り代(2,535円*3市分)
1	8	26	2,380	行政視察 8/26~28(磐田市、静岡市、三島市) バス運賃(2名分) ※経理責任者の支払い証明書
1	8	28	1,190	行政視察 8/26~28(磐田市、静岡市、三島市) バス運賃(1名分) ※経理責任者の支払い証明書
1	11	19	96,162	世界野球ソフトボール総会視察経費 11/21~22(大阪) 【内訳】 交通費 JR北広島駅 ⇄ JR新千歳空港駅 1,120円 新千歳空港 ⇒ 伊丹空港 48,730円 関西空港 ⇒ 新千歳空港 23,810円 伊丹空港 ⇒ 堺 ⇒ りんくうタウン ⇒ 関西空港 2,960円 宿泊費 10,800円 旅行代理店取扱手数料 8,742円
1	11	19	220	振込手数料
合計			508,475	

会派名 自由クラブ

使途基準項目別支払調書(資料作成費)

年	月	日	支出額	内容
1	6	23	427	コピー用紙代
2	3	17	9,449	プリンタ用インク代
2	3	18	8,651	プリンタ用インク、コピー用紙代
2	3	18	7,513	プリンタ用インク代
2	3	19	8,948	プリンタ用インク代
2	3	23	9,446	プリンタ用インク、コピー用紙代
2	3	24	10,166	プリンタ用インク代
合	計		54,600	

使途基準項目別支払調書(要請及び陳情活動費)

年 月 日			支出額	内 容
1	8	21	85,920	陳情活動経費 8/28(和田衆議院議員、中村文部科学大臣政務官) 【内訳】 ※研究研修費に綴る 交通費 静岡三島駅～東京駅 28,320円(新幹線運賃6名分) 宿泊費 57,600円(6名分)
1	8	27	1,550	タクシー代
1	8	27	1,140	タクシー代
1	8	27	2,170	タクシー代
1	8	27	1,850	タクシー代
1	8	28	730	タクシー代
1	8	28	730	タクシー代
1	8	28	1,370	タクシー代
1	8	28	1,290	タクシー代
1	8	28	2,940	モノレール運賃6名 ※経理責任者の支払い証明書
合 計			99,690	

2019年 会派行政視察 報告書

北広島市議会
自由クラブ

<本視察における目的>

当市に北海道日本ハムファイターズ・ボールパークの建設が決定し、今後北広島駅の改築及び周辺土地再開発並びに請願駅となる予定の「JR新駅」の設置にいたる、プロセスや周囲との合意形成などについて、先進地に学ぶものである。

8月26日(月) 14時30分から16時30分

磐田市役所 建設部都市整備課

【視察項目】

1. 請願駅である磐田新駅設置事業及び新駅南北連絡線設置事業

(都市整備課事業支援グループ) グループ長 山田卓司 様

課長補佐 栗田和彦 様 平野尚洋 様

磐田市において、昭和62年に地区住民7,455人の署名による新駅設置の請願が行われたことをきっかけに、市議会が請願を採択し、進められてきたものである。

その後、JR東海(静岡支社)へ新駅設置の要望書を提出、平成4年には磐田市東部地区土地区画整理組合を設立した。平成19年まで地区において3つの組合が設立され、平成21年に事業が完成したことによりそれぞれ組合は解散した。ここまで21年の歳月を要したことになる。

平成27年からは工事着手に向けた各種申請、実施設計等が行われ28年建築工事着手し令和2年春に開業予定となる。

請願駅は「御厨駅(みくりやえき)」と決定し、駅舎の形状は橋上駅、鉄骨造2階建て。

事業費用は、駅舎・自由通路を含み造成を除くが、約49億円である。

その他には、駅前交通広場、アクセス道路、駐輪場、駐車場組合や地権者と協議し整備予定である。

この駅は、サッカーJリーグ、ジュビロ磐田の本拠地である「ヤマハスタジアム」の近隣駅となり、これまで不便なアクセスとなり多くの観客が自家用車や長時間をかけた徒歩での来場となっていたが、この請願駅である「御厨駅」を利用することにより、徒歩18分となったことから、今後多くの観客の利用が見込まれている。また、長年の住民の悲願となる駅の新設は、周囲の新規住宅建設や新たなまちづくりとして期待されている。



以上 磐田市

8月27日(火) 9時30分から11時00分

静岡市役所 都市局 都市計画部 清水駅周辺整備課

【視察項目】

2. JR草薙駅整備事業並びに南北自由通路、周辺整備事業

(駅周辺計画係) 主査・技術士 高野 覚 様

主幹兼工事係長 村松 昇 様、主任技師 鈴木 敬弘 様

JR草薙駅は大正15年に信号所として開設以来、地域の重要な交通の要として、1日約17,000人の乗降客が利用する静岡市の重要な役である。JR草薙駅を橋上駅舎化し、新たに南北地区をつなぐ自由通路と北口駅前広場を整備することにより、南北地区の往来がしやすくなり、南北一体となった交通結節機能の向上と、南北地区の交流の合わせて、エレベーター、多機能トイレなどを整備し、駅のバリアフリー化を図り、誰にでも使いやすく、安全な安心駅舎と自由通路整備するものである。

今回のリニューアルにより、自由通路を利用することで、線路をまたいで南北の往来がしやすくなり、南北地区の交流の活性化が高まるものとされている。南北一体となった(草薙ブランド)磨きにさらなる拍車がかかることを大いに期待するものである。

都市計画への位置づけについては、明治44年に国鉄東海道本線、草薙信号所が開設したことを始まりとし、

大正 15 年に草薙駅が開設。その後何度かの駅舎建て替えを終えた後、昭和 63 年に南口駅前広場を整備した。平成 16 年に、草薙駅自由通路の新設及び教場駅舎日の基本計画調査を実施したことを皮切りに、平成 24 年草薙駅南北自由通路の事業認可が決定した。

平成 25 年に工事を着工、平成 28 年には新駅舎及び南北自由通路の共用を開始した。

住民説明会または合意形成に至るプロセスなど検討会議メンバーにおいては、大学教授、地区連合自治会、商店街組合、再開発組合、教育関係者、周辺の銀行及び商業施設、鉄道事業者が一体的に検討会議を行い運営・管理する体制が整った。

周囲には、県立美術館を筆頭に、3 大学、小学校、静岡銀行、清水銀行、信用金庫、静岡鉄道などがありこれらでまちづくり検討会議が行われグランドデザイン等の研究会を運営している。

北広島駅及び駅西口再開発の今後のモデルとなる、非常に近似した周辺状況である。





以上 静岡市

文責 島崎圭介

令和元年度

自由クラブ 行政視察報告書

【視察先】 静岡県三島市

【視察日時】 令和元年 8 月 27 日(火)13:00～15:00

【視察対応】 三島市健康推進事業「スマートウェルネス構想」について

【対応者】 三島市健康推進部健幸政策戦略室 勝又瑞季氏、他三島市議会事務局

【報告者】 久保田 智

1) 説明内容

事業推進担当の健幸政策戦略室勝又氏よりパワーポイントを活用しての「スマートウェルネス構想」についての説明。

- ・三島市の自然環境を生かしたノルディックウォーキングの推進
- ・大学との連携による健康推進システムの構築
- ・タニタとの連携、協同事業の推進

2) 所感

三島市の環境、事業推進理念について北広島市との共通したものを感じた。自然環境を生かした考え、地の利を生かした健康推進事業などの取り組みは北広島市でもなされている。企業との連携、大学の利活用などから今後の発展への可能性が充分ある事から非常に興味深い内容であった。

【行政視察 写真】



2019年 視察(会議)報告書

自由クラブ
島崎 圭介

11月21日(木) 12時~17時 ホテル・アゴラリージェンシー大阪堺
WBSC(world baseball softball confederation) 及び 野球自治体サミット

【視察項目】

この総会は、2年に1度開催され、WBSCにとって最高意思決定機関である。世界135か国の野球、ソフトボール関係者が一堂に会する機会となり、ICCA(国際会議協会)基準に該当する世界でも認められた価値ある会議である。また、2019年は野球、ソフトボールがオリンピック競技に復帰する東京オリンピックの前年となり、注目度が高くなることが期待されている。

開催地の堺市は、百舌鳥古市古墳群の世界文化遺産登録の実現を控えるなど、歴史・文化面において注目を集めていることはもちろん、スポーツも非常に盛んな街であり、当総会開催を通して世界の方にスポーツ、文化、歴史など多方面で、認知いただく機会にすると共に、野球界の発展、野球の普及に貢献できるよう取り組んでいる。

会議への参加は、東京オリンピックに向けた競技運営関係、野球・ソフトボールの振興・発展に向けた取組等を協議する中で、情報収集をするものである。

なお会議は野球・ソフトボールの国際組織である世界野球ソフトボール連盟(WBSC)が主催し、WBSCはプレミア12などの国際大会をはじめ、世界的な野球・ソフトボールの普及・振興活動を実施している。

今回のWBSC総会開催を契機として、今後より一層日本から野球・ソフトボールの普及・振興、さらにはレガシーの創出につなげていくものである。

【視察会議参加内容】

本市(北広島市)としては、2023年開業予定の北海道日本ハムファイターズ・ボールパークが、北海道はもとより日本やアジアからの多数の来市来場を想定し、いま世界の野球では何が求められ、どのようなハード&ソフト面において、必要なものは何かを知る上で非常に価値の高い会議である。

参加させて頂いた事に大変感慨深いものであるとともに、「世界スタンダード」のものを体験するに貴重な機会であった。

会議と同時に開催された「野球自治体サミット」にも出席することができ、いま日本の野球先進地での自治体では、どのような取り組みを推進しているのか、また将来展望はいかにあるのかを、自治体の長自らプレゼンテーションを行われた。

会議から感じ、まちづくりに創出できるのか、大いにヒントを頂いたとともに、人脈形成に大変有意義な会議参加であった。

本会議の主催は「公益財団法人 大阪観光局」であり、溝畑宏理事長の音頭の下、プレゼンテーションは、永藤英機氏・堺市長、中村時広・愛媛県知事、内堀雅雄・福島県知事が務められ、意見交換では佐々木恭一・SSK 代表取締役社長、福本豊・スペシャルアドバイザー(元阪急ブレーブス)からも、今後の日本における野球のあり方や、推進方策らについて意見が述べられた。

本会議後に推進発足予定の「(仮称)野球観光連絡協議会」についても議論され、北海道ボールパーク建設地である北広島市もこの協議会への参加の打診を頂くなど、当市において今後のボールパークを軸とした交流人口の増加、定住人口の増加や雇用の創出、観光推進について大きなコンテンツとなるよう期待できるものである。

今後も、同協議会との積極的な参加や連携をするにあたり、野球経験が長い私として市のまちづくりの一端になれるよう、今後も積極的に情報交換を継続するものもである。

【視察写真は枚数も多いことから本文と関係のある写真のみ添付する】

【参考写真】





文責 島崎圭介